

## 国際文化学部の再編について

### 1 概要

社会全体でデジタル化が急速に進められる中、これから地域や社会の課題解決等に取り組む上で、デジタル技術を活用して新たな価値を生み出す人材の育成が急務である。

とりわけ、デジタル技術者と協力して well-being な考え方に立ち、ひとや地域（まち・文化・教育）の課題解決のために貢献できる人材（文系DX人材）が求められている。

そのため、山口県立大学では、令和7年4月から、国際文化学部に新たに「情報社会学科」を設置し、従来の人文系国際文化学の強みを維持しながら、地域社会の未来をリデザインし、人々の暮らしのDX推進に貢献できる人材を育成することを計画している。

### 2 再編計画（※構想中）

国際文化学部	R6入学定員 (前年度比)	→	R7入学定員 (前年度比)
国際文化学科	62 (—)	定員減	50 (▲12)
文化創造学科	52 (—)	定員減	45 (▲7)
情報社会学科 (設置計画中)		学科の新設	40 (40)
計	114 —	定員増	135 (21)

  

社会福祉学部	R6入学定員 (前年度比)	→	R7入学定員 (前年度比)
社会福祉学科	103 (—)	定員減	87 (▲16)
計	103	定員減	87 (▲16)

  

看護栄養学部	R6入学定員 (前年度比)	→	R7入学定員 (前年度比)
看護学科	55 (—)	変更なし	55 (—)
栄養学科	42 (—)	変更なし	42 (—)
計	97 (—)	変更なし	97 (—)

  

3学部	R6入学定員 (前年度比)	→	R7入学定員 (前年度比)
計	314 (—)	定員増	319 (5)

### 3 今後の予定

上記2の内容については、令和5年6月30日開催の入試説明会において公表したところであるが、文部科学省に対しては、令和6年4月に新学科設置に係る届出を予定している。